

公益社団法人  
横須賀青年会議所

2022年度事業方針

*slogan*

～紡ぐ～ 歴史・言葉・心・未来へ



# 公益社団法人横須賀青年会議所 2022年度 第70代理事長 中本 剛央

## 基本方針

1. 横須賀経済再興に向けた事業の推進
2. 70年の歴史に感謝し、次代へ紡ぐビジョンの構築
3. 会員拡大への意識向上と実施
4. 会員へ有益な情報発信の強化
5. 地域から頼られる組織への進化

*slogan*

～紡ぐ～ 歴史・言葉・心・未来へ

### 2022年度 理事長あいさつ

私が、この公益社団法人横須賀青年会議所の門を叩いたのは2011年4月です。社会で同じ境遇の繋がりを持ちたいと考えていた時期でした。入会後は繋がりができるだけではなく、横須賀が持つ地域の魅力について非常に良く理解する機会を頂戴しましたし、メンバーや先輩諸氏に多くの支えをいただきました。これまでに得た青年会議所での経験は今、私の財産となっております。

2020年から、新型コロナウイルスにより様々な行動が制限される日々が続いております。生活様式も大きく変化したことに加え、経済面では長引く自粛要請などにより、先行きが不透明な状況が続いており、多くの企業が苦境に立たされております。しかし、私たち横須賀青年会議所は、社会の変化の中でも常に希望を見出し、挑戦してまいりました。今何をすべきなのか。元の日常には戻れなくとも、より良い日常を創出するため、率先して行動を起こし、一日でも早く笑顔を取り戻す運動を展開する必要があります。その先には若さと情熱溢れる我々横須賀青年会議所メンバーによって築きあげられた、持続可能な社会が待っています。

本年は、経済再興を基軸として様々な事業を展開してまいります。今、経済再興を市民の一人ひとりにしっかりと考える機会を提供していかなくては持続可能な社会は来ません。豊かな未来のためには、地域にこの機会を浸透させ、再興への道しるべを創っていく必要があります。

横須賀（まち）のため、市民（ひと）のために行動しよう。若き力をもって困難に立ち向かい、我々の理念である「明るい豊かな社会の実現」に向け一歩を踏み出そう。

青年会議所は、会社では経験できないような様々な役職を通じ、その役職を全うする中で、多くの学びを得ることができます。事業を構築することや事業に参画することで、一人では感じることができなかった感動や達成感を得ることができます。また、失敗や反省により自身の成長とすることができます。それは、セミナーを受けるだけでは体験できない貴重な経験です。そして、人生の中で大切な友情を育む場もあります。人と出会い、多くの学びを共にする仲間を得ることや、失敗や反省を共にし、次に活かすことができる仲間がいることにより、成功した時の達成感は格別なものとなります。

青年会議所メンバーは、社会人として活発に活動している世代です。このような経験を通じ、地域で必要とされる存在へと成長していただけると確信しております。そして我々青年会議所メンバーが運動を推し進めたその先には、地域に住み暮らす市民（ひと）にも、自分たちの横須賀（まち）を良くしようという意識を高めることができ、この地域の豊かな未来へ繋がると信じます。

私は2022年度理事長として、一人のひととして、感謝の想いを覚悟に変えて青年会議所運動に、邁進することをお誓い申し上げます。また、多くの場でパートナーとなっていたいただいた方々に今後ともご協力賜りますこと、そしてメンバーの皆様の厚き友情と、先輩諸氏の変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 役員紹介



直前理事長  
門井 秀孝



特別理事  
泉谷 翔



副理事長  
齋藤 元一郎



副理事長  
小菅 大真



専務理事  
高橋 慶光



理事  
水野 茂光



理事  
須藤 未喜



理事  
酒田 裕貴



理事  
長島 崇明



理事  
宿城 健太



理事  
中島 崇裕

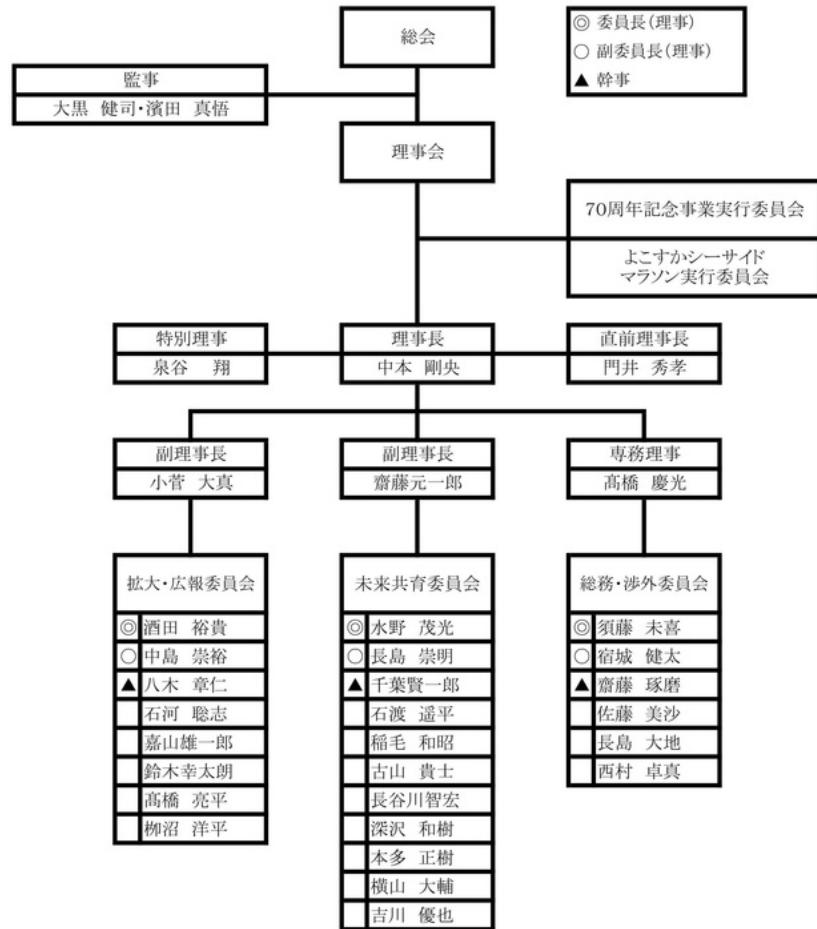


監事  
大黒 健司



監事  
濱田 慎吾

## 組織図



## 年間スケジュール

1月	19日(水)	賀詞交歓会 [未来共育委員会]
2月	16日(水)	通常総会 [総務・涉外委員会]
3月	18日(金)	例会 [総務・涉外委員会]
4月	7日(木)	4月第1例会 [拡大・広報委員会]
	21日(木)	4月第2例会 [拡大・広報委員会]
5月	25日(水)	70周年祝う会 [総務・涉外委員会]
6月	24日(金)	例会 [総務・涉外委員会]
7月	9日(土)	7月第1例会 [未来共育委員会]
	30日(土)	7月第2例会 [未来共育委員会]
8月	25日(木)	臨時総会 [総務・涉外委員会]
9月	24日(土)	70周年記念式典 [70周年記念事業実行委員会]
10月		
11月	27日(日)	よこすかシーサイドマラソン [よこすかシーサイドマラソン実行委員会]
12月	6日(火)	臨時総会 [総務・涉外委員会]
	16日(金)	卒業式 [拡大・広報委員会]

# 2022年度 新年ご挨拶

横須賀市  
市長  
上地 克明 様



新年明けましておめでとうございます。横須賀青年会議所の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスへの対応で、皆様には大変なご辛抱と我慢をおかけしました。

改めてこれまでの感染症対策への感謝を申し上げるとともに、特に医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーの皆様のこれまでのご尽力に、格別の御礼を申し上げます。

さて昨年、皆様とは、地域SNSとしてPIAZZA横須賀版を開始することができました。また、コロナ禍における市の課題などについても、共有する機会がありました。

閉塞感が社会全体を覆っていた中、これらの皆様のご協力を追い風に、横須賀市は確実に前に進むことができました。この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

私は今年の言葉に、「新流」を選びました。それは今年をコロナ禍からの再生のため、賀から新しい流れを生み出し発信していく、そんな一年にしたいと思っているからです。

昨年は、北九州と横須賀をつなぐ高速フェリーの就航がありました。これは、3方に海に囲まれているという横須賀の抗うことができない地勢上の課題を一変させ、首都圏の海の玄関口として、新たな地位を築くという新しい流れを生み出しました。

私は、このような新しい流れを契機に、横須賀への注目を高め、投資を呼び込み、多くの人に訪れていただくことで、地域経済に好循環を作り出したいと考えています。

そして、横須賀で暮らすすべての人々がお互いを認め合い、手を取り合って慈しみあい助け合うことのできる、「だれも一人にさせないまち」にしていきたいと思っています。  
是非皆様には、今後も引き続き、変わらぬお力添えをいただけますよう、お願ひ申し上げる次第です。

結びに、皆様にとって、令和4年が心躍る輝かしい一年となりますことを心からお祈りします。

横須賀商工会議所  
会頭  
平松 廣司 様



皆様新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、年明けの1月8日から、緊急事態宣言が発出され、様々な行動制限がされる先行き不透明なスタートとなりました。

その後も市民生活の制限は続き、ようやくワクチン接種の促進等、感染防止策の徹底により新規感染者は減少、9月30日を以って緊急事態宣言が解除されました。以後、感染者減少に伴い、経済活動も徐々に再開され、変異株の懸念を抱えながらも、客足が回復しつつあり、明るい兆しが見え始めた年末となりました。

こうした中、横須賀青年会議所におかれましては、毎年恒例である「横須賀シーサイドマラソン」が新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2年連続中止となりましたが、「横須賀経済の再興」と“地域コミュニティの重要性”を掲げ、地域コミュニティ活性化を目的とした地域SNS「ピアッザアプリ 横須賀エリア」の開設や、オンラインセミナー開催等、活動が制約されながらも積極的に会員相互の啓発と交流、地域協働事業を展開されました。コロナウイルス感染症がもたらした「変化」は、我々の生活を激変させました。

今こそ若い経営者が将来を見据えて新たな都市活力を生み出すエネルギー源として活躍されることを、大いに期待しています。

私も一緒に将来の横須賀を担う青年経営者の育成に、尽力して参る所存でございますので、横須賀青年会議所、横須賀商工会議所、共に地域経済団体として、本年も手を携え、各種事業を展開して参りたいと存じます。

結びにこの一年が皆様にとって健やかな年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

横須賀市議会  
議長  
大野 忠之 様



皆さま、新年あけましておめでとうございます。

横須賀市議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々なイベントが取りやめになるなど、人と人との交流が断たれるとともに、事業活動においても、時間短縮や人数制限に努める必要があるなど、制約の多い一年だったと思います。

また、横須賀青年会議所の皆さまが毎年尽力され、市民やランナーの好評を得ています「よこすかシーサイドマラソン」も二年連続で中止の決断をされ、大変悔しい思いをされたと推察いたします。

そうした中、市民へのワクチン接種も進み、医療・福祉関係者をはじめとしたエッセンシャルワーカーの皆さまのたゆみないご努力によって、ようやく感染状況は落ち着きを見せてきました。

新たな変異株の出現など、まだまだ予断を許さない面もありますが、横須賀青年会議所の皆さまの時代を捉えた取り組みにより、この横須賀に若さ溢れる想いが結集され、新しい地域コミュニティや経済を創りだしていくことを大いに期待しております。

私ども、横須賀市議会としましても、横須賀青年会議所の皆さまの頑張りに負けないよう、本市のさらなる発展に向けて、これまで以上に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

ドイツの詩人ゲーテの言葉に「大業をなしとげようと思ったら、年老いても青年でなければならない」とあります。横須賀青年会議所の皆さまの熱き想いを力に、私個人としましても気持ちは青年のまま、常に新しいことにチャレンジし続けてまいりたいと思います。

結びに、本年が皆さまにとりまして、新たな希望あふれる年となりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人  
日本青年会議所  
第71代会頭  
中島 土君



公益社団法人 横須賀青年会議所の皆様、あけましておめでとうございます。日頃より公益社団法人日本青年会議所に対し、格別のご高配を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

また、長きに渡り、青年会議所運動を通して、貴地域に多くの価値を創出して来られたことに対しまして、心より敬意を表します。

本年度、中本剛央理事長のもと「～紡ぐ～歴史・言葉・心・未来へ」を掲げられ、まちの社会課題に対し、多くの持続可能な仕組みをつくる運動を展開される事と存じます。

日本青年会議所と致しましては、「まちにより良い変化をもたらし愛が溢れる国をつくる」を基本理念として掲げ、各地青年会議所と手を携え、皆様のまちをより良くするための運動を展開してまいります。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、私共を大いにご活用頂ければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、現役会員、先輩諸氏の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。

中島 土

公益社団法人  
日本青年会議所  
関東地区協議会  
第68代会長  
坂倉 賢君



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人横須賀青年会議所の皆様には、日頃より関東地区協議会の運動に心を寄せいただき、心から感謝を申し上げます。

2020年より世界中の脅威となった新型コロナウイルスの収束も未だ見通しがつかない中、今まさに我々青年会議所が果たすべき役割は、まちのため、ひとのために圧倒的な当事者意識を持ち、今までの常識を疑い、より良い世の中を作るために挑戦をし続けていくことであると考えます。

関東地区協議会は栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、山梨県、神奈川県の8都県合わせて157の会員会議所から出向するメンバーで構成されています。本年で70周年を迎ますが、もともとは北関東ブロックと南関東ブロックが誕生したことから関東地区協議会は初声をあげました。関東地区内の会員会議所の連絡調整機関として、会員会議所同士の横のつながりを築くための組織として活動をスタートしましたが、約55年前から都道府県ごとにブロック協議会が構成されるようになり、今日に至っております。

地区協議会、ブロック協議会、あるいは本会、いずれも各地会員会議所の繁栄を目的として活動していますが、それぞれの組織が各地会員会議所のためにどのような役割を果たし活動しているのかについて、一般的のメンバーの皆様にはなかなか分かりづらいのではないかと想像いたします。

そこで、2022年度の関東地区協議会では、157会員会議所同士の交流や連携の機会を創出する役割に注力し、2021年7月2日に開催をさせていただきます、第70回関東地区大会韮崎北杜大会を関東地区最大の交流の場として開催させていただく予定でございます。

また、2022年度の関東地区協議会副会長として門井秀孝君、その他多くの横須賀青年会議所のメンバーの皆様にご出向をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。

2020年度、大崎厚郎会長以来の神奈川から出向させていただく関東地区協議会会長として、神奈川の皆様に大変ご支援をいただく場面が多くなりますが、神奈川の名に恥じぬよう役割を全うして参る所存でございます。

結びとなりますが、中本理事長が率いられます公益社団法人横須賀青年会議所2022年度の運動が希望溢れる未来の実現につながることを心よりご祈念いたします。

公益社団法人  
日本青年会議所  
神奈川ブロック協議会  
第55代会長  
常盤 健嗣君



公益社団法人横須賀青年会議所、中本剛央理事長をはじめとするメンバーの皆様、新年おめでとうございます。日ごろより公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会の運動に対し、深いご理解、そして多大なるご支援をいただいておりますことに心よりの感謝を申し上げます。

約二年間に及ぶ新型感染症の経済的、社会的影響にも正面から向き合い、一度たりとも歩みを止めることなく、70年に亘り地域に根差した青年会議所活動を行われております横須賀青年会議所の皆様には心よりの敬意を表します。先輩諸兄姉、そして行政、関係団体との深い繋がりのもと、地域の声を根拠とし、明るい豊かな未来を見据えた様々な事業を開展されていらっしゃることは、県内会員会議所の模範であると捉えております。

2022年度、神奈川ブロック協議会はスローガン「Walk On」のもと、全ては県内会員会議所のために、皆様と足並みを揃えそれぞれの色で明るい未来を描き出すための運動を行って参ります。近年、様々な要因により経済、社会構造は変化の速度を早めることとなりました。2022年は変わるものと残すものの取捨を選別する難しい一年であり、反面、それができる新たな可能性に満ち溢れた一年でもあります。そんな希望が溢れる年にあって、中本理事長が掲げられる横須賀経済再興の実現、そして歴史・言葉・心を未来へ紡ぐ全ての運動の達成に向け、神奈川ブロック協議会をご活用いただけるよう我々は、貴青年会議所のもっとも近くにいる伴走者として、一層の連携を推進して参ります。

文化都市、そして世界との扉としての国際交流都市横須賀の地に根差す横須賀青年会議所皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げると共に、2022年、設立70周年を迎える節目の本年が、皆様にとって大きな躍進の一年になる事をご期待申し上げ新年のご挨拶に代えさせていただきます。共に歩み続けて参りましょう。

# 委員会紹介

## 未来共育委員会

### 「For the Future」

近年、個人を取り巻く経済・金融環境が大きくかつ急速に変化し、生活者としての個人にも自己責任が求められる場面が増えてきており、金融取引等の場で自己責任を全う出来る能力の養成が必要となっている。また金融リテラシー教育という場において日本は世界に比べ遅れている。そこで未来を担う子供たちが、笑顔で豊かな人生を送る為にも未来共育委員会では事業を通じて金融リテラシーを向上させる取り組みを行っていく。子供たちや今まで金融リテラシー教育を受けてこなかった人達に対しても学びの場として機会提供を行う為、専門家とのパートナーシップを築きながら事業を考案し、体験することによる学びを推進していく。お金の流れ・仕組みを学び、社会の中で生きていく力の素地を形成していく。そして本事業を通じて市民や子供たちの金融リテラシーを高めることは「明るい豊かな社会」に繋がると考え、地域の未来を見据えた事業を構築していく。

一年の委員会活動を通して仲間と共に行動を起こすことで社会や地域に貢献出来ると再確認し、自分以外



の誰かの為に行動を起こすことの大切さを学び成長していく。また、事業の計画・立案・実施を行い深めた知識や経験を通して得たものを周囲に共有していくことで、横須賀経済再興の一助になれるよう青年経済人として成熟していく。その成長を活かし将来へ繋げていくとの想いから2022年度委員会のスローガンを「For the Future」とする。横須賀市やそこに住む人達、横須賀青年会議所の未来に向けた活動を行っていくとの想いを掲げ2022年度を邁進していく。

## 総務・涉外委員会

### 「Believe in TEAM」

本年度、横須賀青年会議所は創立70周年を迎える。先輩諸氏が長年にわたり築き上げた歴史や想いを代々受け継ぎ、横須賀青年会議所が地域社会のために更なる発展を継続するためには、円滑な組織運営の基盤が必要である。また限られた時間の中で活動する私達は効率性の高い運営が求められる。効率性を高めるためにも、伝達事項は的確な情報を迅速に伝える必要がある。

青年会議所の最高意思決定機関の総会は、議決権を持つ全会員が責任を持ち行使できるよう総会の意義を周知し、事前準備を徹底する。また涉外業務は多岐に及ぶが、新しい視点で幅広い事業構築ができるよう、LOM以外の魅力的な事業等を伝達し、各種事業へ参加しやすい環境を整える。

創立70周年を祝う会の企画・実施について、私達が今日まで運動を続けられるのは先輩諸氏が横須賀を「明るい豊かなまち」にしようという想いを、途絶えることなく70年紡いできたからである。今日までの歴史に感謝し先輩諸氏に敬意を表すと共に、未来へ紡いでいけるよう業務を遂行する。

総務・涉外委員会は「Believe in TEAM」をスローガンに掲げ、難題に直面しても委員会で



一団となり共に乗り越えることができるTEAMを目指す。私達の総務・涉外委員会は組織の根幹を担う業務であり、組織は人と人の繋がりである。相手を思いやる気持ちを大切に各委員会と連携を強化し、組織全体が円滑に運営できるよう努める。そしてメンバーが一年を通して、どれか一つの業務をリーダーとして担当する事で意義と手法を確りと学び、メンバー同士が率先して助け合い協働することで、主体性を持った行動に繋げ未来のリーダーとして成長できるよう邁進する。

# 拡大・広報委員会 「One Unity」

我々の理念である「明るい豊かな社会」を築く運動を進めるためには、能動的な変化を遂げるための機会を提供し続け、会員拡大により我々の運動を伝播し続けることが求められている。そのためには、横須賀市在住・在勤の青年経済人に我々の活動を広く知っていただき共感していただくことが重要であり、確りと戦略を立てた上、会員が一丸となって会員拡大運動を進めていく必要がある。本年度、拡大・広報委員会は会員拡大運動の根底から考えて構築する。会員拡大運動と人材育成を車の両輪と捉え、会員拡大運動を通して人材の育成を進め、魅力的な人材を増やすことで青年会議所が横須賀に与える影響力が増え、その力を基に自然と人が集まる仕組みの土台作りを、年間を通して推進していく。また、その車のエンジンとして、効果的に広報を発信し続け、確りと青年会議所という車体を走らせ続けることのできる基盤を固めていく。

拡大については、入会間もないメンバーや経験・知識に自信のないメンバーでも活用できる動画を用いたコンテンツを作成していく。また、年間を通して全メンバーが常に拡大を意識し続けるため、他委員会にもそのコンテンツを波及させ、拡大・広報委員会が中心となり運用していく。

広報については、2021年度に作った基盤を軸に、発信力の強化を進めていく。インターネットの急速な普及が進み、情報過多なこの時代においても伝わる広報を発信しなければならない。そこで本年度は投稿・更新頻度をより高め、記事の精密度を上げることで、登録者数の飛躍的な増加を目指す。また、文字に頼った記事の発信ではなく、ビジュアル



コンテンツ主軸で記事を作成するためのロジックを各委員会と共有し、効率的に記事化が出来るよう努めていく。

最後に、青年会議所は「リーダーとしてのスキルや資質を磨く団体」であると考える。委員会メンバーそれぞれが向上心を持ち、意識や想いを伝播していくことで、一つに調和された委員会を形成することが可能となる。我々拡大・広報委員会は、「ONE UNITY」をスローガンと掲げ、一致団結した、楽しく学べる委員会運営を進めていく。それにより、新しく入会したメンバーが希望に満ちたJ C ライフを邁進し、委員会メンバーが「明るい豊かな社会」を体現できる人材となることが出来ると信じている。

## SNS紹介

### 横須賀青年会議所の最新情報について



今後の横須賀青年会議所の活動報告の最新情報に関しては、各種SNSやホームページにて随時更新してまいりますので、ご覧頂けると幸いです。

こちらのQRコードを携帯電話やタブレット端末のカメラ機能で読み取って頂くと各種SNSやホームページにリンクしておりますので、是非ご活用ください。

## 会員拡大について

横須賀青年会議所は共に活動していただける仲間を大歓迎いたします！

20歳から39歳までの横須賀在勤・在住の方であれば性別・職種・国籍等問わず入会できます。

私たちと一緒に、地域のために、未来の子供たちのために、今できることを考え、行動しませんか？

メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として、青年会議所の扉を開いて頂けることをお待ち申し上げます。



公益社団法人横須賀青年会議所  
〒238-0013  
神奈川県横須賀市平成町2-14-4  
横須賀商工会議所内  
TEL 046-824-1061 MAIL info@yokosukajc.com  
■発行責任者/公益社団法人横須賀青年会議所 理事長 中本 剛央  
■編集責任者/未来教育委員会 委員長 水野 茂光